

ベストペーパー賞（BP 賞）選定記

石井信明

第 21 回情報システム学会・研究発表大会 ベストペーパー賞選定委員会 委員長

2025 年 11 月 29 日（土）～30 日（日）、第 21 回情報システム学会全国大会・研究発表大会が、青山学院大学 青山キャンパスにおいて、「人間中心の社会の維持・発展を目指して～生命情報, 社会情報を重視した情報システムの実現～」を大会テーマとして開催されました。その成果の一環として、ベストペーパー特別賞が選定されました。なお、今大会においてはベストペーパー賞および学生奨励賞の授与は見送られました。

【受賞おめでとう！】

- ・ ベストペーパー特別賞

山下啓和、医療機関における院内開発の有効性と課題：藤沢市民病院における事例から

【各賞選定のプロセス】

各賞は、次の手順にて選考に至りました。基本的に一昨年と同様の手順です。

手順 1（BP 賞選定委員の選出）：今大会では、委員長を含め 6 名の委員が選出された。

手順 2（論文内容確認）：各委員は、期限までに投稿された論文をダウンロードして内容を確認する。

手順 3（予備評価）：各委員は、合計の持ち点 100 点で各論文の予備評価を行う。

手順 4（各賞選定）：各委員は、予備評価の内容を総合評価し、メール審議により委員全員が思いを共有して、各賞の該当者を決定する。

以上の手順で選ばれたのが、上記のベストペーパー特別賞です。

【各賞の特徴と注目される観点】

ベストペーパー特別賞では、情報システム論文としての内容、アイデアの新奇性、発展性、情報社会における有用性などが総合的に判断されます。

山下啓和さんの論文は、「医療情報システムの内製化の必要性とその限界を豊富な経験に基づき示しており、医療人材不足の現代社会において極めて有用性の高い研究であること」、「今後の研究により、医療機関での医療情報システム内製についてのノウハウ、要件定義手法の発展が期待出来ること」、などが高く評価されました。さらに発表後の質疑応答においても、活発かつ建設的な議論が展開され、本研究の意義と可能性が改めて確認されました。

【各賞の選定を終えて】

事前にダウンロードした論文による予備評価では、これまでと同様に各委員の意見にばらつきが見られ、各賞の選定には困難が予想されました。事前のメール審議において、委員の意見を確認、共有し、各賞の選定方針に従い最終的に各賞を決定することができました。

選定委員は全ての論文を精査し、受賞論文以外の発表にも興味深い話題がたくさんあることを確認しました。ぜひとも、今回発表をされなかった方々を含め、次回大会での研究成果の発表をお願い申し上げます。さらに、今回発表された方々は、論文の内容をもう一度見直され、情報システム学会誌に投稿してください。お待ちしております。

今回は残念なことに、学生奨励賞の選定を見送ることとなりました。これは、本賞創設以来、初めてのことです。

学生奨励賞は、大学に在籍中の30歳未満の大学生または大学院生であり、論文のファーストオーサーであることなどを条件としています。本賞は、今後の情報システム学を人材の裾野を広げる意味もあります。来年は、多くの発表があることを期待します。

なお、ベストペーパー賞をはじめ各賞の審査対象は、提出期限までに提出した論文が対象となります。今回、提出期限後に提出された論文にも、授賞の可能性のある論文がありました。最後に、この点も申し添えます。

以上